

令和4年度 第3回学校運営協議会 議事概要

- 1 日時 令和5年2月6日(月) 開会 15時00分 閉会 16時33分
- 2 場所 岡山県立玉野高等学校会議室
- 3 出席者
- | | | | |
|----|--------|----|-------------|
| 委員 | 稲田 秀知 | 委員 | 東 りえ |
| 委員 | 大川 佳郎 | 委員 | 福本 泰久 |
| 委員 | 河田 いずる | 委員 | 藤原 直之 |
| 委員 | 谷 あゆみ | 委員 | 山根 一人 (敬称略) |
| 委員 | 豊田 啓介 | 委員 | 藤原 修 (校長) |
- 事務局 教頭 栗田 武治
事務部長 横田 輝彦
主幹教諭 寺岡 俊之
指導教諭 竜門 巧
指導教諭 岡本 崇志

4 議事の概要

開会

(1) 説明

事務局担当者から、生徒・保護者・教職員対象の学校自己評価アンケート結果と学校経営目標の最終達成状況及び評価についてそれぞれ説明した。

校長が令和5年度の学校経営計画、グランドデザインについて説明した。加えて、地域との協働に係る取組「Tamano Grow up School (TGS) プラン」の進捗状況と今後の計画について説明した。

(2) 意見交換

校長及び事務局からの説明を受けて、各委員で意見交換を行った。概ね次の3点について、意見が交わされた。

①令和4年度学校経営目標の最終達成状況と評価について

- 評価の基礎データとなる自己評価アンケートでの保護者の回収率を改善することが課題である。また、生徒・保護者が高い満足度を示している具体的な理由を把握する必要がある。
- 目標数値に達していない家庭学習への取組に対する学校の評価は厳しいが、生徒の回答では昨年度より、10ポイント以上改善されている。学習の仕掛けや刺激をしている結果であり、評価してよいのでは。
- 学びのモチベーションを保つ定期考査の存在意義が薄れてきている。単元ごとにまとめをしている小学校の学びを参考にすることがある。
- 校長が率先して行事の整理・見直しを行っていることを高く評価する。業務改善の目的は、生徒に向き合う時間を確保するためであるが、併せて、他の問題を解決するための鍵となる、教職員のベクトルを揃えることも期待できる。

②令和5年度学校経営計画、グランドデザインについて

- 以前に述べた意見をグランドデザインに取り入れたことに感謝する。
- 学校経営計画では生徒が全面に出て、生徒が主役という方針がより明確になった。
- 経営計画書の内容で示す順序が納得できるものになった。スクールミッションを前面に置き、生徒や環境の実態を踏まえてこそ目標があるので納得できる。

③地域との協働に係る取組「Tamano Grow up School (TGS) プラン」について

- 玉野市が地域おこし協力隊の導入に向かうよう学校に協力したい。
- 先日、本校の総合的な探究の時間に参加した。高校生は唐突な意見を述べることも少なくないが、興味深い意見も多い。委員も参加すると、学校がデザインしているイメージが深まると思う。
- 地域との関わりが生徒一人一人の刺激となって、将来像が描けられるようになる手助けができるならば、市民としてこの上ない喜びである。
- 平素からの玉野高校生と小学生の交流に感謝する。コロナの状況が変化し、来年度は交流の機会を増やしていきたい。特に5年生での環境学習、6年生での日本の文化についての学習などでの交流に期待する。
- コーディネータとして、保護者の協力が得られる可能性がある。
- 持続可能性と経済は切り離せるものではない。SDGsの学びは、経済に触れさせる良い機会と考える。
- 高校生と同様に民間企業にも大人しい社員が少なくない。評価制度や人事制度を見直して、主体性のある社員を育てる方針に変更する。これを機に、TGSプランに協力できることを考えたい。

(3) 協議

校長及び事務局が示した、令和4年度の最終評価と令和5年度の学校経営計画、グランドデザインについて協議し、異議はなく、原案どおりで承認された。

また、TGSプランの推進についても賛同を得られた。

閉会